

第七十五回
帝國議會
貴族院

所得稅法改正法律案特別委員會會議事速記録第六號

昭和十五年三月二十四日(日曜日)午後一時三十六分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 只今ヨリ所得稅法改正法律案外三十六件ノ特別委員會ヲ開會致シマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 先日八條子爵カラ本稅法案ニ關スル修正ガ通過シマシタ場合ニ於テ、ソレガ爲ニ生ジマスル歲入ノ缺陷ニ付、段々ト御質問ガアリマシテ、一應御答ヘ致シマシタケレドモ、此ノ際茲ニ重ねテ御答ヘ致シタイト存ジマス、此ノ缺陷ニ付キマシテハ、御説ノ如ク直チニ其ノ補填ノ途ヲ講ズベキガ當然デアリマスガ、政府ハ昭和十五年度豫算審議ノ際、貴衆兩院ニ於テ種々御意見ノアリマシタ點ヲ尊重致シマシテ豫算ノ實行ニ當リマシテハ、施設ノ緩急要否ニ付十分ナル再檢討ヲ遂ゲ、極力冗費ヲ節スルニ努メ、殊ニ情勢ノ變化ニ伴ヒマシテ、不必要ナルヤウナ經費ニ付キマシテハ、贅毫ノ末ニ至ル迄是ガ使用ヲ避クルコトトシ、以テ出來得ル限リ經費ノ不用額ヲ生ゼシムルヤウ努力致シ、此ノ節約不用額ニ依リマシテ、大體支障ナク豫算ヲ遂行スル考デゴザイマス、此ノ段御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵八條隆正君 過日私ノ質問致シマシタコトニ付キマシテ、只今大藏大臣ヨリ御答辯ヲ得マシテ、大體政府ノ御所信ノ程ハ了解致シマシタ、唯事ガ極メテ重大ナコトデアリマスノデ、愚念デハアリマスルガ、尙一應御確メ致シテ置キタイト思ヒマス、

只今ノ御答辯ニ依リマスルト、歲入缺陷六千萬圓ノ問題ニ付キマシテハ、極力十五年度豫算ノ實行ニ當リマシテ、節約ヲ加ヘラレマシテ、又不急ノモノト認メラレルモノニ付テハ緩急ヲ圖ツテ不用額ヲ生ズルヤウニシテ、之ニ依ツテ六千萬圓ノ歲入缺陷ハ差支ナク運用出來ルヤウニスルト云フ御答辯ノヤウニ拜承致シマシタ、而シテ左様デアリマスレバ、此ノ歲入缺陷ノ爲ニ次期議會ニ於テ追加豫算ヲ出スト云フヤウナコトハ絕對ニナイモノデアアル、斯様ニ了解致シマシテ宜シウゴザイマセウカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 御答ヘ申上ゲマス、他ノ理由ニ依リマス場合ハ別デアリマスガ、此ノ稅制修正ニ依ル缺陷ニ關シマシテハ、追加豫算ヲ出サヌ覺悟ヲ以テ處理致ス積リデアリマス

○子爵八條隆正君 大藏大臣ノ御言明ハ能ク了解致シマシタ、就キマシテハ此ノ豫算實行ニ當ツテ歲出ノ節約ト云フコトハ、各省ノ豫算ニ互ルコトト考ヘマスノデ、各大臣ニ於テモ既ニ御了解ニナツタコトト存ジマス、又内閣ノ首班ニ在ラセラルル處ノ總理大臣ニ於テモ、必ズ此ノ大藏大臣ノ只今ノ御言明ノ通りニ御實行ニ相成ルト云フコトニ承知致シテ宜シウゴザイマスカ、總理大臣ノ御言明ヲ御願ヒ致シタイト存ジマス

○國務大臣(米内光政君) 只今大藏大臣カラ言明致シマシタ通り、政府ト致シマシテ、御質疑ノ點ハ慎重ニ考慮シテ其ノ實行ニ當リタイト考ヘテ居リマス

○子爵八條隆正君 大藏大臣竝ニ只今ノ總理大臣兩大臣ノ御言明ニ依リマシテ、政府ノ御所見ハ能ク了解致シマシタ、ドウカ御言明通りニ御實行ニ相成ルヤウニ希望致シマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ相續稅ノ問題ニ付キマシテ大藏大臣ニ伺ヒタイトデアリマス、相續稅ノ物納ニ付キマシテハ、委員會ヲ設ケテ速カニ審議スルト云フコトニ衆議院デ御言明ニナリマシタノデスガ、我々此處デ質問應答ノ結果、相續稅ノ物納ノミナラズ、其ノ評價ニ争フアツタ場合ニ納稅者ニ買上請求權ヲ與ヘルト云フコトモ是非必要デアアル、之ニ付キマシテハ政府トシテハ速カニ委員會ヲ作り、其ノ委員會ハ官吏バカリデナク、民間ノ委員モ其ノ中ニ加ヘ、サウシテ慎重ニ審議セラレ、又成ルベク速カニ審議ヲサレテ、少クモ此ノ次ノ議會迄ニハ相當成案ヲ得ラレテ、議會ヘ提出サレルヤウナ運ビニ致シタイト斯ウ云フ積リデ居リマスガ、大藏大臣ノ御考ハ如何デゴザイマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今質問ニ相成リマシタ相續稅ニ關スル物納ノ問題ニ關シマシテハ、是ハ同時ニ課稅物件ノ買上等ノ件ニ付キマシテ至急ニ官民合同ノ調査會ヲ設置致シマシテ、本年中ニ其ノ調査ヲ終了致ス方針ヲ以テ是非進行致シタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○伯爵二荒芳徳君 私ハ相續稅ノコトニ付キマシテ一言伺ヒタイト思ヒマスガ、近時

相續稅ハ非常ナ高イ稅率ヲ課セラレテ居ル譯デアリマスガ、斯クノ如キ非常時ノ際ニ於キマシテ、稅率ノ高マルト云フコトハ勿論已ムヲ得ナイコトデゴザイマスシ、又同時ニ擔稅力ノアル者ガ之ヲ負擔致スト云フコトニ付テハ當然ノコトト思フデアリマス、併シナガラ此處デ最モ考ヘナケレバナラヌト存ジマスノハ、此ノ家ト云フモノニ對スル我ガ國ニ於ケル特殊ノ性質ト云フモノガ十分ニ考究サレナイデ、徒ニ「ヨーロッパ」ノ個人主義思想ト云フモノニ立脚シテ課稅セラレルト云フコトニナリマス、非常ナ誤リヲ生ズルノデハナイカト思フデアリマス、一體我ガ國ニ於ケル財ノ觀念ハマダ眞ニ我ガ國ノ國體觀念ニ立脚シテハ考ヘラレテ居ラヌト少クモ私ハ思フデアリマス、是ハ今日ノ如キ國體明徴ノ研究ノ盛

ノ時ニ於テハ、大藏當局ニ於テハ特ニ財ト云フモノニ付テ國體的研究ハ御進メニハナツテ居ルト存ジテ居リマスガ、未ダ議會其ノ他ニ於テ御發表ニナツタト云フコトハ聽イテ居ラヌデアリマス、我ガ國ニ於テハ勿論「ヨーロッパ」ニ於ケルガ如キ私有財産ト云フモノハ、第一義ニ於テハ認メテ居ラヌト云フコトハ、是ハ古イ日本ノ思想ヲ言ヒ傳ヘタ所ノ古事記、日本書紀等ニ考ヘマスレバ明白ナコトデアリマス、例ヘバ今日私ノ有財産ノ制度ヲ勿論認メテ居リマスガ、是ハ第二義ノ意味デアリマス、例ヘバ我々ガ土地ヲ私有スルコトヲ許サレテ居ルノハ、法律上、民法上許サレタニ過ギナイデアリマシテ、

第四部第二〇類 所得稅法改正法律案特別委員會會議事速記録第六號 昭和十五年三月二十四日

國家ノ土地ハ固ヨリ天皇ノ總攬シ給フ所デアリ、普天ノ下王土ニ非ザルハ莫ク、率土ノ濱王臣ニ非ザルハ莫シト云フコトハ言フ迄モナイノデアリマス、從テ各個人ノ家ニ屬スル財產ト云フモノハ、第一義ニ於テハ天皇、國家ノ所有スル所ヲ、假ニ家ガ保有スルコトヲ許サレテ居ルノニ過ギナイノデアリマス、從テ其ノ財ノ使用ハ各個人ノ臣民の良心ニ從テ、最モ適正デアルト思ハレル使用ノ標準ニ從テ用ヒラルベキモノデアツテ、個人ノ恣ニナル、自由ナル判斷ニ依ツテノミ使用サルベキモノデハナイト思フノデアリマス、從ヒマシテ我が國ノ家ト云フモノノ觀念カラ見マシレバ、其ノ財產ハ歐米ノ個人主義ノ思想カラ來ル財產所有ノ觀念トハ勿論違ヒマスシ、又近時流行致シマス所ノ全體主義ノ財產所有觀念トモ異ルノデアリマス、強ヒテ言フナラバ、我が國ノ家ノ有スル財產所有觀念ト云フモノハ、古キ個人主義ニ立脚シタ所ノ私有財產觀念ノ缺陷ヲ補フト同時ニ、近事流行スル所ノ全體主義ノ財產所有觀念ノ兩弊ヲ是正シテ、茲ニ一番ニ新シイ所ノ財產所有觀念ト云フモノヲ造リ出シ得ル將來性ヲ持ツテ居ル重大ナ意義ガアルト思フノデアリマス、即チ或意味ニ於キマシテハ物ノ觀念ノ是正、所有觀念ノ是正ト云フ所ニ立到ルト思フノデアリマス、處ガ今日ノ如ク相續稅ノ累進遞増ト云フコトハ、先達テ來伺ヒマスノニ、寧ロコ、十數年ト申シマスカ、二三十年前ノ歐米ノ個人主義思想ト云フモノカラ發足シテ行ク一種ノ社會政策論ト云フモノニ立脚シテ居ルヤノ觀ガアルノデアリマス、或バ然ラザルトスルモ、近時ノ全體主義國家ノ嚮ニ做ツテ居ルヤニ見ラ

レル節ガアルノデアリマスガ、斯クノ如キ事柄ハ動モスレバ日本ノ掛ケ換ヘノナイ特殊性質デアル家ノ觀念ト云フモノヲ破壊シ、又家ト云フモノニ對スル道義的觀念ヲモ傷付ケル虞ガナイトモ言ヘナイノデアリマシテ、所謂八紘ヲ以テ宇ト爲スト云フ、此ノ民族的理想モ、過去ノ民族の信念ノ上ニ於ケル家ト云フモノト、一脈相通ズル深イ信念ニ存スル譯ダト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、ドウゾ當局ニ於キマシテ深イ民族の信念ノ上ニ御研究ヲ戴キマシテ、慎重ナルガ上ニモ慎重ニ、且日本獨得ノ財ノ觀念、又所有觀念ト云フモノヲ早ク確立セラレマシテ誤リナイコトヲ期セラレムコトヲ切ニ望ンデ已マナイ次第デアリマス

○國務大臣(櫻內幸雄君) 只今二荒伯爵カラ、日本ノ家族制度ノ特有性並ニ日本ノ財產所有觀念ニ關スル所ノ御意見ヲ拜聽致シマシテ、全然私共ハ同感デゴザイマス、日本帝國ハ全ク世界無比ノ國體デアツテ、世界何レノ國民トモ自ラ異ツタル所ガアルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ如何ナル方面ノ政治ニ付キマシテモ深ク之ヲ頭ニ置イテ行ハナケレバナラスコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、殊ニ稅制等ニ於キマシテハ想ヲ致シマシテ、是等ノ日本獨得ノ國民の信念ニ對シマシテ誤リナキヲ期セナケレバナラスト思ツテ居リマス、御話ノ如ク歐米個人主義、或ハ全體主義の傾向ガ日本ノ或部分ニ於テ相當論ゼラレテ居リマスノデ、ソレ等ノ事柄ガ往々ニシテ色々方面ニ入ツテ參リマスケレドモ、日本ノ團體ハ全然是ト異ツテ居リマシテ、所謂皇道精神ニ基イテ日本ノ國體ヲ守ツテ行カナケリ

ヤナラスノデアリマシテ、御注意ニナリマス點ニ付キマシテハ十分ニ服膺シテ參リタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 此ノ邊デ質問ハ大體打切りマシテ……

○子爵大河内總耕君 チョット簡單デゴザイマスカラ昨日ノ……昨日地方財政ト國ノ財政トノ關係ニ付キマシテ、東京市ノ例ニ致シマシテ内務省ニ伺ヒマシタガ、計數ガナイカラト云フ御話デソレキリニナツテ居リマシタガ、此ノ際計數ヲ戴キマシタノデ、尙ソレニ付テ伺ヒタイト存ジマス、御示ノ材料ニ依リマス、東京市ニ於キマシテハ改正前六千九百萬圓、改正後ニ於テハ七千四百萬圓、即チ五百萬圓バカリ増稅ニナルヤウナ形ニナツテ居リマス、併シ是ハ六千九百萬圓ハ十三年度ノ時ノダサウデ、七千四百萬圓ハ今度ノ御見積ダサウデ、基本額ガ變ツテ居リマスカラ比較ニハナラナイ、サウスルト基本額ヲ今度ノニ御直シニナリマス、ドウ云フ結果ニナルノデスカ

○政府委員(三好重夫君) 此ノ數字ハ、基本額ニ付キマシテハ大體現在ノ儘ノ基本ガアルデアラウト云フ見込デ立テ居ル數字デゴザイマス、尤モ此ノ六千九百萬圓ト云フ改正前ノ稅額ニ付キマシテハ、若シ東京市ガ現在ノ附加稅ノ賦課率ヲ其ノ儘維持致シマシテ昭和十五年度ニ及ブト云フ假定ヲ置キマスレバ、是ヨリモ相當多額ノ增收ニナルノデアリカト想像ヲ致シテ居ルノデアリマス、若シサウ云フ想像ノ數字ヲ假定致シマスナラバ、改正後ノ稅收入見込額ニ比較致シマスレバ、或ハ若干ノ減收ト云フ形ニ現レルカトモ存ズルノデアリマス

○子爵大河内總耕君 サウ致シマス、兩

方課稅標準ヲ同ジニ致シマスレバ改正後ノ方ガ減ルンダト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ宜シイノデスカ

○政府委員(三好重夫君) 其ノ點ニ付キマシテハ、現行制度ノ稅種ガ異ツテ居リマスノデ、稍、仰セニナリマシタ通りデゴザイマスト云フ御答モ出來兼ネマスガ、大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ、仰セニナリマシタヤウナ趣旨ニ相成ルカト思フノデゴザイマス

○西野元君 私ハ極メテ事務的ノ問題ニ付、簡單ニ御伺フ致シタイノデアリマスカラ、大藏大臣ノ御答辯ヲ要スル譯デモゴザイマセヌ、若シ私ノ只今伺ヒマスコトガ既ニドナタカラカラ御質問ガアリマシタコトデゴザイマスレバ、其ノ點ヲ御話ヲ願ヒマスレバ、重ネテ御說明ヲ煩シマセヌデ、私個人的ニ又後デ研究致シマスガ、伺ヒタイト思ヒマスノハ、此ノ個人ノ所得稅ノ稅法改正ニ伴ツテノ附則ノ問題デアリマスガ、此ノ附則ノ百十條ヲ見マス、個人ノ所得申告書ノ提出期限ガ現行法デ三月十五日トナツテ居リ、又此ノ改正法案ニ付テモ三月十五日トナツテ居リマスガ、昭和十五年ニ限ツテ之ヲ四月三十日ニスルト云フコトニナツテ居リマシテ、今年ニ限リマシテ既ニ我ノ三月十五日ニ申告致シテ居ルモノニ付改メテ四月三十日ニ申告スルコトヲ必要トスルト云フ趣旨カト思ヒマスガ、今年ニ對スル今日ノ言葉デ申セバ第三種所得、此ノ個人ノ所得ニ對スル課稅方法ガドウ云フ風ニナリマスノカ、簡單ニチヨット條文ニ付御說明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ法律案ガ成立致シマスルト云フト、大體四月一日カラ施行致サレルコトト存ズルノデアリマス、

從ヒマシテ從來ノ第三種所得稅ト改正法ノ所得稅ト比較ベマスルト云フト、課稅標準ノ計算方法トカ、稅率トカ、其ノ他色々ノ點デ變更ガ加ヘラレテ居ルノデアリマスカラシテ、從ヒマシテ現行法ノ下ニ於キマシテ三月十五日限りニ申告致シマシタモノハ一應御破算トナリマシテ、新シク四月三十日迄ニ申告シテ載クコトニナルノデゴザイマス

○西野元君 サウ致シマス此ノ附則ノ第九十八條ノ規定ハドウ云フ風ニ讀ンデ宜シイノカ、チヨットソレヲ御説明願ヒタイ

○政府委員(大矢半次郎君) 第九十八條ニ「不動産所得、乙種ノ配當利子所得、事業所得、乙種ノ勤勞所得、山林ノ所得及乙種ノ退職所得ニ付テハ昭和十五年分分類所得稅ヨリ、個人ノ總所得ニ付テハ昭和十五年分綜合所得稅ヨリ本法ヲ適用ス」ト、斯ウアリマシテ、是ハ何レモ稅務署ノ調査ニ依リマシテ所得調査委員會ニ附議シテ決定スル種類ノモノデゴザイマス、是等ニ付キマシテハ十五年分カラ本法ヲ適用サレマスガ、此ノ申告等ニ付キマシテハ此ノ百十條ノ規定ニ依リマシテ四月三十日限り、斯ウ云フ風ニナツテ居ル次第デゴザイマス

○西野元君 チヨット素人ニハ分リニクイノデスガ、一言ニシテ申セバ、前半ハ昭和十五年分分類所得稅、個人ノ分ハ又昭和十五年分綜合所得稅ト書イテアリマスガ、兩方書キ分ケテドラモ昭和十五年分ヲ適用サレ、其ノ區分ガハッキリ分リマセヌガ、若シ既ニ御説明ニデモナツテ居リマセバ、此ノ際ニ皆サンヲ煩シテ伺フニモ當リマセヌカラ、私自身デ能ク法文ヲ研究致シマス

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ源泉課稅ノ點ニ付キマシテハ、四月一日以降支拂ハレルモノニ付テ課稅ニナルノデアリマシテ、是ハ附則ノ第九十七條ノ「本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」是デ總テ解決スルノデアリマス、併シナガラ此ノ第九十七條ダケト致シマスルト、稅務署ノ調査デ賦課決定スル分ニ付キマシテハ、昭和十五年四月一日以降ノ所得ニ付テノミ課稅スルヤノ疑ガアルノデアリマシテ、ソコデ第九十八條ヲ設ケテ、是等ノ所得ニ付キマシテハ、昭和十五年分ヨリ課稅スルノダト斯ウ規定シタ次第デアリマス、更ニ分類所得稅ト綜合所得稅ト書キ分ケタノハドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ分類所得稅ノ中、甲種ノモノニ付キマシテモ同様ニ昭和十五年分ヨリ課稅スルコトニナレバ、書キ分ケル必要ガナカッタノデアリマスケレドモ、甲種ノ源泉課稅ヲスルモノニ付キマシテハ別ニ規定致サナケレバナラヌ關係上、條文ノ體裁ト致シマシテ、斯クノ如ク分類所得稅ト綜合所得稅ト書キ分ケルコトニナツタ次第デアリマス

○西野元君 サウ致シマス、九十八條ノ規定ノ半面カラシテ、甲種ノ配當利子所得ハ九十七條ノ「本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フ條文ノ適用ニ依ツテ自ラ分ツテ居ルト云フ御趣旨デ甲種ノ方ハ書イテナイト云フ意味ニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイマス

○西野元君 サウ致シマス、先刻私ノ伺ヒマシタ九十八條ニ之ヲ二ツ書キ分ケテアリマスノハ、分類所得稅ノ分ニ付テハ、詰

リ昭和十五年四月一日ヨリ新クニ支拂フ分ニ課稅スルノデアル、ソレガ個人ノ總所得トナツテ課稅サレル場合ニハ、前年ニ支給ヲ受ケタモノニ課稅スル、斯ウ云フコトヲ書キ分ケタモノト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 分類所得稅ノ中、甲種ニ屬スルモノニ付キマシテハ、九十七條ノ適用ガアリ、乙種ノモノ及甲乙ノ區分ナクシテ稅務署ノ賦課決定ニ依ル種類ノモノニ付キマシテハ九十八條ノ適用ガアル、斯ウ云フ次第デゴザイマス

○西野元君 大體了承致シマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○橋本辰二郎君 申ス迄モナク新法ハ四月一日カラ御實施ニナルノデゴザイマセウガ、二月ノ月末迄ニ受取りマシタル配當所得ニ付キマシテハ、今度ハ新稅法ニ依リマシテドウ云フ風ニ御取扱ニナルノデアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 本法施行地ニ於テ支拂ヲ受ケル配當ニ付キマシテハ、分類所得稅ハ昭和十五年四月一日以降支拂ヲ受ケルモノニ付テ適用ガアルノデアリマス、綜合所得稅ニ付キマシテハ從來通りデゴザイマス

○橋本辰二郎君 其ノ點ハ分リマシタガ、サウ致シマス、此ノ改正ニ依リマシテ綜合所得ノ課稅ヲ受ケル者ハ二割控除ノ特典ヲ失ツタト云フコトニナリマスガ、之ニハ負債ノ控除ガ出來ルト云フコトデアリマスケレドモ、我々ハソレニハ重キヲ置イテ居リマセヌ、結局茲ニ矢張り是迄ニ割ノ控除ヲ受ケテ居ツタ特典ヲ奪ハレルト云フコトニ考ヘマスガ、之ニ反シマシテ綜合課稅ヲ

受ケザル人々、即チ五千圓以下ノ所得者ハ、結局衆議院ノ修正ニ依リマシテ一割ノ控除ト云フ恩典ヲ受ケルコトニナルト同時ニ、又考ヘマス、是迄ハ五千圓以下ノ人モ千二百圓以上ノ者ハ配當所得ニ付テ相當ノ課稅ヲ受ケテ居リマシタガ、今度法律ガ改正ノ結果ト致シマシテ、千二百圓カラ五千圓迄ノ人々ハ配當金ヲ受取ツテモソレニ付テハ何等課稅ヲ受ケナイヤウニ思ヘレマスガ、サウ云フコトニナリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 其ノ點ハ單リ五千圓以下ノ所得ダケノ問題デハナク、五千圓ヲ超ニル所得者ニ付テモ分類所得稅ノ課稅ニ付テハ同様デアリマス

○橋本辰二郎君 分リマシタ

○委員長(伯爵林博太郎君) 此ノ際討論ニ移ルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 御異議ナイト認ママス、是ヨリ討論ニ入りマス

○子爵八條隆正君 私ハ此ノ特別委員會ニ付託ニナリマシタ租稅法諸案ニ對シマシテ贊成ノ意見ヲ持ツテ居リマス、之ヲ少シク陳述致シマス、今回ノ稅制整理ト云フモノハ國竝ニ地方ヲ通ジテノ稅制整理デアリ、且又租稅ノ體系ニ著シキ變革ヲ加ヘラレタモノデアリマシテ、實ニ日本ノ租稅史上ニ於テ畫期的ノ大改革デアルト云フコトハ言フ迄モナイト存ジマス、併シナガラ此ノ稅制整理ト云フモノハ普通ノ場合ニ於キマシテハ、平時經濟界ノ安定致シテ居ル時ニ行フノガ最モ適當ナ時期デアルト存ズルノデアリマス、從ツテソレガ爲ニ一度企テラレマシタ稅制整理ノ計畫モ、兩三年延期ニナリマシテ、今日ニ至ツテ居ツタノデアリマス、

第四部第二〇類 所得稅法改正法律案特別委員會議事速記第六號 昭和十五年三月二十四日

從ツテ此ノ稅制整理ハ左様ナ意味デ、單ニ財政、稅制ノ理論ニ基イテ稅制整理ヲシヨウト云フダケノ目的デアリマスナラバ、必ズシモ今日ノ時期ヲ選ブ必要ハナカッタラウト思フノデアリマス、併シナガラ今日ニ於テ此ノ稅制整理ヲ提案セラレタト云フコトハ、是ハ稅制ヲ整理スルト云フ…制度ヲ立テルト云フコトヨリモ、寧ろ增稅ガ目的デアルト云フコトハ勿論デアルト存ジマス、即チ今日ノ時局ニ際シマシテ、此ノ戰費其ノ他時局ニ要スル巨額ノ經費、龐大ナ豫算ノ財源トシテ公債ヲ増發スル一方デ行ク、或ハ多クヲ公債ニ頼ルト云フコトハ、財政ノ堅實ト云フコトカラ言ヒマシテ甚ダ面白クナイコトデアアル、之ヲ相當額公債ト相俟ツテ租稅ニ財源ヲ求ムルト云フコトガ財政上執ルベキ手段デアルト云フ御考カラ致シマシテ、茲ニ增稅ノ計畫ヲ樹テラレタ、是ガ即チ今日ニ於テ稅制改革ヲセラレル主ナル動機デアリ、又同時ニ目的デアッタト存ジマス、即チ增稅ガ目的デアツテ、其ノ增稅ヲ致サムガ爲ニ現在ニ於ケル租稅制度ニ於テハ十分ナル增稅ノ目的ガ達セラレナイ、仍テ其ノ增稅ヲスルニ適當ナ稅制ヲ立テテ行カウト云フノガ、從來ノ租稅制度ニ對シテ根本的トモ言ツテ宜イ改革ヲ企テラレタモノデアルト私ハ了解致スノデアリマ

マシテモ、公債ニ多ク財源ヲ求ムルト云フコトハ龐大ナル財政ヲシテ益、龐大ニセシメルト云フ傾向ガアリマスノデ、公債ノ外ニ尙國民ノ負擔力ニ堪ヘ得ル限リニ於テ增稅ニ、租稅ニ財源ヲ求メルト云フコトハ私ハ最モ適當ナル處置ト思フノデアリマス、增稅ハ能ク國債ノ利拂、或ハ戰時ニ於ケル年金、恩給ノ増加ノ程度ニ於テトカ何トカ云フヤウナ增稅ノ程度ニ付テノ意見ガアリマスガ、必ズシモサウ云フ程度ト云フコトヲ考慮スル必要ハナイノデ、國民ノ負擔ニ堪ヘ得ル程度ニ於テハ相當ノ增稅ヲ爲シテ、戰時財政ノ運行ニ付テ堅實ヲ期スルト云フコトハ最モ必要ナコトト思フノデアリマス、此ノ意味ニ於テ增稅ト云フコトニ對シテハ、誠ニソレハ國民ト致シマシテハ相當苦痛デアリマスガ、併シ今日ノ時局ヲ乘リ切ツテ行ク、聖戰ノ大業ヲ完遂スル爲ニハ、國民ハ飽ク迄モ如何ナル方面ニ於テモ苦痛ヲ堪ヘ忍ンデ參ラナケレバナラヌコトデアリマスカラシテ、今日ノ增稅ハ相當大キナル增稅デアリマシテ、國民ノ負擔トシテハ誠ニ重イ荷ヲ負フ譯デアリマスケレドモ、ソレハ今日ト致シマシテハ、國民トシテハ之ヲ堪ヘ忍ンデ行カヌケレバナラヌ、斯様ニ存ジマスノデ此ノ增稅ト云フコトニ對シマシテハ私ハ贊意ヲ表スル者デアリマス、ノミナラズソレニ伴フ所ノ稅制改革ノ此ノ案ガ此ノ增稅ノ目的ヲ達スルニ都合ノ好イヤウナ制度ノ立テ方デアリマシテ、今迄ノ所得稅或ハ收益稅ヲ以テ直接稅ノ體系トセラレタノヲ、收益稅ハ地方ノ財源トシテ之ヲ事實ニ於テ地方ニ委讓シテ、國稅トシテハ所得稅ヲ以テ根幹トシテ一般所得稅、即チ綜合所得稅ニ於テハ、相當ノ又高給者ニ對シテ稅

率ヲ盛リ、又分類所得稅ニ於キマシテハ、少額所得者ヲモ國稅ヲ負擔セシムルト云フヤウナ手段ヲ執ラレ、サウシテ之ニ彈力性ヲ持タセラレタト云フコトハ、是ハ將來ノ更ニ增稅ヲ爲スベキ場合ニ於ケル處置トシテ、適當ナル改正案ト思フノデアリマス、言フ迄モナク此ノ分類所得稅ハ英國ノ稅制ヲ基本トセラレタノデアリマセウガ、英國ハ毎年々々其ノ歳出ノ必要ニ應ジテ稅率ヲ上ガ下ゲラシテ、サウシテ財政ノ事情ニ應ジテ行クト云フ極メテ彈力性ノアル租稅デアリマシテ、之ヲ眞似ラレタモノト思フノデアリマス、サウシテ此ノ增稅ト云フコトハ單ニ財政ノ需要ニ應ジテ參ルト云フノミナラズ、今日ノ如キ國民生活ノ上ニ於キマシテモ、購買力ヲ吸收シテ努メテ通貨膨脹ニ依ル所ノ物價ノ騰貴ヲ抑制シヨウト云フコトニ相成ルノデアリマシテ、殊ニ此ノ少額所得者ニ對シテノ稅、或ハ又生活必需品ハ別デアリマスガ、其ノ他ノ物品ニ對スル間接消費稅ノ増徴ノ如キハ購買力抑制ノ上ニ於テ大ニ役立つノデアラウト存ジマス、又納稅者ノ範圍ヲ擴張スルヤウニ致シテ參ルト云フコトハ、國民ヲシテ國家ニ對スル觀念ヲ深メテ譯デアリマシテ、此ノ點カラ言ウテモ納稅者ノ範圍ヲ小所得者ノ範圍ニ及ンデ、大衆課稅ニ相成ルト云フコトハ至極適當ナルコトト存ジマス、一面ニ於テ時局ノ産業ニ關係致シマスル方面ニ於テハ、即チ販賣産業ニ付キマシテハ普通ノ事業、平和事業ニ對シテヨリモ多大ノ收益ヲ擧ゲテ居ル狀態デアリマスカラシテ、是ハ國內ニ於テ平和事業關係者ト、時局産業關係者トノ間ニ、著シク不權衡ヲ生ジテ居ルノデアリマシテ、之ニ對シマシテ戰時利得稅ニ

相當スル臨時利得稅ヲ重課セラレタト云フコトハ單ニ收入ヲ増加スルト云フ意味ノミナラズ、國民的感情カラ申シマシテモ適當ナルコトト存ジマスノデ、左様ナ意味ニ於キマシテ增稅ノ目的トシ、而シテ之ニ伴ウテ立テラレマシタル今回ノ稅制整理案ト云フモノハ、大體ニ於テ今日ノ場合ニ於テ適當ナ制度ト存ズルノデアリマス、而シテ此ノ增稅ノ程度デアリマスガ、今回ノ增稅ノ程度ト云フモノハ相當巨額ナル增稅デアリマシテ、國民トシテハ正ニ増加スル苦痛ハ相當大キナモノデアアルノデアリマス、併シナガラ是以上ノ負擔ガ出來ナイカト申セバ未ダ未ダ餘裕モアリ、而シテ國民トシテハ一層ノ今後時局ノ推移ニ從ツテ負擔ノ重イコトヲ忍ブノ覺悟ガナクテハナラヌト思フノデアリマス、現ニ英國ノ如キハ最近ノ事情ヲ聽キマス此ノ分類所得稅ニ於テ、從來ノ五志六片デアリマシタカ、ソレニ對シテ歐洲戰爭ニ入りマスルヤ、今日ハ「ボンド」ニ付テ七志六片ト云フ風ニ急ニ增稅ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、過去ニ於テハ二割七分五厘ノ割合デアツタモノガ今日デハ三割七分五厘ノ割合ノ稅ヲ分類所得稅ニ於テ負擔ヲ致シテ居ル、是ハ第一次世界大戰ニ於ケル當時ノ稅率ヨリモ高イ稅率デアアルノデアリマシテ、當時ヨリモ今回ノ增稅ノ方ハ六片半上廻リニナツテ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマス、即チ第一次ノ大戰ヨリモ今回ノ歐洲戰爭ニ對スル方ガ英國ハ一層ヨリ以上ノ增稅ヲ致シテ居ル、又同時ニ英國ノ一般所得稅ニ於キマシテモ稅率ヲ引上ゲテ、我が國ノ三萬圓程度ノモノヲ負擔スル稅率ヲ以テ最低稅率ト致シテ居ル、斯様ナ風デ、英國ノ一例ヲ以テ見マシテモ、戰時

ニ於ケル覺悟が知ラレルノデアリマス、今日我が國ノ時局ニ鑑ミマシテ、非常ナル大キナ仕事ヲ成シ遂ゲヨウト云フ時ニ於テ、又前途尙遠、事變處理ノ解決ノ時期方遠遠デアルト云フ時ニ於キマシテハ、今後一層ノ負擔ヲ覺悟シナケレバ、其ノ完遂ニ到ル迄ニハ相當ノ苦痛ヲ忍バナケレバナラスト云フコトヲ覺悟セヌケレバナラス、斯様ニ存ズルノデアリマシテ、恐ラク租税ト公債トノ關係ニ於テ、今少シク政府トシテハヨリ以上ノ増稅ガセラレタノデアッタカトモ存ジマスルガ、改革ノ段階ニ於テ急激ナル増加ヲ避ケテ、今回ハ先ヅ此ノ程度ト云フコトニ考ヘラレタノデアリカト思ヒマス、堪ヘ得ラレナイ所ノ負擔ニ迄ハ持テ行クコトハ出來メセヌガ、堪ヘ得ル範圍ニ於テハ國民トシテハ一面覺悟セヌケレバナラス、又財政ノ膨脹ヲ防グト云フコトノ結果ヲモ考ヘマスルト云フコト、其ノ堅實性ヲ増ス爲ニハ、將來トテモ今日以上ノ重稅ハ負擔出來ナイト云フヤウナ弱イ考ヲ持テハ時局ヲ乗切ルコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、斯様ナ考ヘ方ヲ致シマスルト云フト、今回ノ稅制改革案ト云フモノハ先ヅ大體ニ於テ適當ナル改革デアラウ、勿論部分的ニ見マスレバ色々議論ノ餘地ハアルコトト存ジマスルガ、大體論トシテ稅制改革、今回ノ御提案ニナツタモノハ是ハ適當ナルモノデアラウト存ズルノデアリマス、而シテ衆議院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘマシタガ、此ノ衆議院ノ修正案モ一ツ、拾得テ見マスレバ、是亦議論ノ餘地ハアルノデアリマスルガ、衆議院ノ修正ノ大體ノ趣旨ハ、矢張り此ノ際急激ナル増稅ヲ避ケテ其ノ急激ナル變革ニ依ツテ生ズル苦痛ヲ幾

ラカ緩和シヨウト斯ウ云フ趣旨カラ出テ居ルモノト存ジマスノデ、此ノ趣旨ハ又必ズシモ不適當ナルコトデハナイト存ジマス、要スルニ漸進主義デ行カウト云フ所ニアルモノト思ハレルノデアリマス、デアリマスルカラシテ、私ハ此ノ場合衆議院ノ修正案ニ贊成致シテ宜カラウト存ジマス、唯問題ニナリマスノハ其ノ修正ノ結果生ズル所ノ六千萬圓餘ノ歳入ノ不足デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、只今大藏大臣ナリ、又總理大臣ガ裏書セラレマシテ御言明ノアリマシタル來年ノ歳出ノ節約ニ依ツテ、此ノ點ハ調整シテ行カウ、斯ウ云フ御所信デアリマスルノデ、責任アル御言明ノコトデアリマスルカラ、之ヲ信賴致シマシテ、左様ナ處置ヲ執ラレ、以上ハ是亦差支ナイコトト存ズルノデアリマス、唯甚ダ遺憾ト致シマスノハ、貴族院ノ近頃ノ先例ガ、豫算法律案分割ト云フコトノ爲ニ、豫算ハ先キニ本院ヲ通過致シテシマツタノデアリマス、若シ豫算ガ尙貴族院ノ方ニアリマシタラバ、衆議院ノ修正ニ依ツテ起ツタ所ノ歳入ノ缺陷ハ如何ニスルカト云フ處置ニ付キマシテ政府ノ御所信ヲ伺ヒ、政府ガ節約ニ依ツテ行クコトヲ御考デアリマスナラバ、如何ナル點ニ付テ御節約ニ相成ルカ、各款項ニ付テノ削減ノ場所ヲ伺ヒ、ソレニ付テ審議スル餘地ガアツタ譯デアリマスガ、遺憾ナガラ今日ニ於テハ既ニ其ノコトモ出來ナイヤウナ状態ニアリマスノデ、今日ノ場合ト致シマシテハ、政府ノ御言明ノ如ク、政府ニ其ノ削減ハ御任セスルヨリ致シ方ナイ情況ニ立至ツタト云フコトハ、是ハ貴族院ト致シマシテ甚ダ遺憾トスル所デアリマスガ、是ハモウ已ムヲ得ヌコトデアリマ

ス、是ハ貴族院自身ガ豫算案ノ審議取扱ニ付キマシテ、自ら考慮スベキ點ガ多クアルト存ジマス、尙此ノ際本諸案ヲ贊成致シマスニ付キマシテ、政府ニ對シテ希望ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、私ハ此ノ増稅ハ今日ノ場合必要ナコトデアリ、相當ノ増稅ハ是ハ國民トシテ忍バナケレバナラスト云フコトヲ申上ゲマシタガ、是ハ國民側ノ覺悟ヲ申上ゲタノデアリマシテ、同時ニ政府ト致シマシテハ、國民ニ是ダケノ増稅ニ依ル苦痛ヲ忍バセルト云フ以上ハ、政府自らニ於キマシテモ財政ノ膨脹ヲ極力避ケテ、今日ノ場合、急ヲ要シナイ事業ノ如キハ努メテ之ヲ延期シテ、又政府ノ行政機構ヲ簡易ニシテ、サウシテ之ヲ能率のナラシメテ、努メテ冗費ヲ省イテ、合理的ニ節約ヲ努メラレ、サウシテ國民ト共ニ政府ニ於テモ自ラ率先シテ、此ノ難局ヲ乗切ルト云フコトニ付テ一層ノ御考ヲ希望スルノデアリマス、次ニ今回ノ稅制改革ハ先程申述ベマシタ通りニ、日本ノ租稅史始メテ以來ノ大變革デアリマスルカラ、此ノ新シキ制度ヲ運用スルニ付キマシテハ、政府ト言ヒマスガ、或ハ又更ニ政府ハ廣イ意味デアリマシテ、稅務當局迄モ含メ居ル意味デアリマスガ、取扱ニ付キマシテハ非常ナル注意ヲ御願ヒセヌケレバナラス、財政學ノ入門ニ舊稅ハ良稅デアルト云フヤウナコトガアツタ思ヒマスガ、惡稅トテモ是ガ長キニナリマスルト、自然ニ自ラ取扱ニモ慣熟シ、又納稅者ニ於キマシテモ自然ニ其ノ間ニ調整ガ取レテ參ッテ工合好ク行クモノデアリマスガ、如何ニ良イ制度デアリマシテモ、新シキ制度デアツテ、當局モ之ニ慣レズ、納稅者ノ方モソレニ親シマナイト云フ時期ニ於キマシテ

ハ、兎角色々ナ摩擦ガ起ツタリ、或ハ不平ガ起ツタリスルモノデアリマスルカラシテ、稅務行政ノ執行ノ上ニ於キマシテハ十分ナル注意ヲ加ヘラレマシテ、都合好ク此ノ重稅ヲ國民ニ不平ナク摩擦ナク執行サレルヤウニ十分ナル注意ヲ希望スル譯デアリマス、尙又今回ノ稅制整理ハ極メテ新シイ根本的ノ改革デアリマスルカラシテ、是ガ果シテ實際ノ運用ニ當リマシテ、將來今日我々ガ考ヘ、政府ガ考ヘテ居ラル、ヤウニ、理論カラ申シマシテモ、又實際カラ申シマシテモ果シテ最モ良イ制度デアツタカナカッタカト云フコトハ今後ノ狀況ニ依ツテ判斷セナケレバナラスト存ジマスノデ、今後實施ノ狀況ニ鑑ミラレマシテ、若シ斯様々々ノ點ガ面白クナイト云フヤウナ缺點ヲ發見セラレマシタ時ニハ、急ラズ速カニ再ビ左様ノ點ヲ改正、是正スルヤウニ御努メアラムコトヲ希望スルノデアリマス、尙最後ニ先日モ質問中ニ申上ゲタノデアリマスガ、從來此ノ時局ニ對スル、支那事變ニ對スル臨時稅トナツテ居タモノデアリマシテ、今回ノ改革ニ依リマシテ恆久稅トセラレタモノガ數種ノ稅ニ付テアルノデアリマスガ、例ヘバ過日申上ゲタ遊興飲食稅デアルトカ、入場稅デアルトカ云フヤウナモノハ、成ル程今日ト致シマシテハ稅收入ガ相當多額ニ相成ツテ居ルノデアリマスルカラシテ、之ヲ今直チニ國稅ヨリ落スト云フコトハ財政上許サレナイモノデアルト云フコトハ、是ハ私共モ承知致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ元來斯様ナ稅ヲ初メテ起サレタ時ハ地方稅デアツタモノヲ、事變關係ニ依ツテ一應國稅トヤツテ見ヨウト云フヤウナコトデナツタモノデアリマシテ、從ツテ事件ニ關スルモ

算ヲ提出セラレルト云フコトハ是ハ如何ナ
モノト思フノデアリマス、デアアルガ今日ノ
場合ニ於キマシテハ既ニ事態ガ違フノデア
リマシテ、此ノ政府ガ提出セラレマシタ總
豫算ト云フモノハ、是ハ現内閣ガ編成セラ
レタ豫算デナイノデアリマス、是ヲ更ニ檢
討修正シテ提出セラレ、餘地ナクシテ提出
シテ居ラレノデアリマスカラ、若シ事實修
正シテ提出スベシト申シマシテモ、是ハ實際
出來ナカッタ状態デアルト考ヘマス、從ヒマ
シテ八條サンノ御賛成ノ意見等ニ於キマシ
テモ、政府ハ十分此ノ歳出豫算ヲ認ムルケレ
ドモ、節約スベキモノハ十分節約スベシト
云フヤウナ御意見モアツタト思ヒマスカラ、
平時ノ場合ト違ヒマシテ今日ノ場合ニ於キ
マシテハ、政府ハ其ノ中カラ節約スルト云
フコトヲ言明ニナルノハ又ソレ相當ノ理由
ガアルト思ヒマスカラ、其ノ政府ノ御言明
ヲ信賴スル次第デアリマス、懸ツテ他ノ方面
カラ之ヲ見マスルト、何ト申シマシテモ稅
ノ負擔ト云フモノガ相當多額ニナツテ居ル、
國民ノ負擔ハ非常ニ増シテ居ルノデアリマ
スカラ、増シテ居ル此ノ際ニ於キマシテ、政
府ハ歳出ノ節約ト云フコトニ極力留意セラ
ルコトハ勿論デアリマス、從ヒマシテ、此
ノ修正ニ依テ生ジタル歳入缺陷ヲ歳出ノ
節約ヲ以テ之ニ充テルト云フ御覺悟ノアル
ト云フコトハ、此ノ多額ノ増稅ヲセラレ
此ノ場合ニ當ツテ又一點相照應スル所アリ
ト見テ宜シト思フノデアリマス、第一番
ニ申上ゲマシタ本改正案ノ稅制ノ形態ヲ整
ヘラレタト云フコトハ、正ニ政府カラモ御
説明ガアツタノデアリマシテ、是ヲ以テ増稅
ノ目的ヲ達シ、又租稅ノ彈力性ヲ増スト云フ
コトニナルノデアリマスカラ、將來ノ稅收

入ヲ見積ラレ、若シハ増收ヲ圖ラレ
ニ於テモ多大ノ便宜モアリ、國民モ多岐複
雜ナル所ノ稅制ノ下ニ増加セラレルヨリ遙
カニ安堵スル次第ト思ヒマス、若シ將來ニ
於キマシテ政府ニ於テハコ、數年ハ特別ノ
變化ナキ限リハ増稅ハシナイト云フ御言明
ハ屢、ゴザイマシタガ、萬一尙其ノ必要ガ
アツタ場合ニハ是ハ已ムヲ得ナイコトト思
ヒマス、只今八條委員カラモ國民ニ於テハ
負擔ニ堪ヘル程度ノ増稅ヲ又覺悟シテ居
ケレバナラヌト云フ御話ガゴザイマシタ
ガ、是ハ勿論サウ覺悟シナケレバナリマセ
ヌト同時ニ、何ト申シマシテモ稅額ガ多ク
ナツテ參ルト、國民ノ負擔ガ殖エテ行クト云
フ状態ニナル以上ハ、政府ハ只今御話ノゴ
ザイマシタ通り、歳出ニ付キマシテ極力節
約ヲ厲行セラレルコトハ無論ノコトデアリ
マシテ、其ノ彈力性ヲ與ヘラレ、又其ノ形
態ガ整ヘラレタコトヲ、利用ト云ツテハ甚ダ
當ラヌカモ知レマセサガ、利用スルヤウナ
コトガアツテ、濫リニ増稅ノ方ニ向フト云フ
コトハナイヤウニ十分注意セラレムコトハ
勿論ノコト、多額ニナレバナリニ從ヒマシ
テ、徵稅ノ方法ノコトニ付キマシテ懇切丁
寧ニ、國民トノ摩擦ハ避ケラレルノハ勿論
ノコト、進ンデハ徵稅ノ方法ヲ納稅シ易イ
ヤウニ、有ラユル積極的ノ便宜ヲ圖ラレ
コトト云フコトニ深く留意セラレマシテ、
折角今八條子爵カラモ申サレマシタヤウナ
國民ノ覺悟ヲシテ鈍ラシメナイヤウニ深
甚ノ御留意アラムコトヲ希望致シマシテ贊
成致シマス

モ有力ナル方々ガ今回ノ稅制ニ御賛成ニ
ナツテ居ル、既ニ大勢相決シマシタト申スヤ
ウナ情勢ニ於テ、私ガ希望ヲ申上ゲテモ其
ノ效果如何ヲ憂フルノデアリマス、併シ一
言希望ヲ述ベサシテ戴キマス、先ヅ御了承願
ヒタイノハ、商工業界ノ人達ハ増稅ヲ忌避
スルノダト云フコトハ斷ジテアリマセヌ、
國家非常時ニ於キマシテ政府ノ御入用ニナ
ル金額ヲ稅ニ依ツテ御取立ニナルト云フコト
ハ我等ハ喜ンデ之ヲ迎ヘルモノデアアル、如何
ナル苦痛ガアリトモ之ヲ忍ブモノデアアルノデ
アリマス、併シナガラ其ノ方法ニ付キマシ
テ考ヘ方ガ違フモノガアルノデアリマス、
先ヅ第一ニ、法人ノ所得ヲ決定サル、場合
ニ從來ニハ納稅シタモノヲ控除サレタ、今
回ノ稅制ニ於キマシテハ之ヲ控除サレナイ
コトニナツタ、是ハ法人ト致シマシテ非常ニ
重大ナル變革デアリマス、負擔ヲ増スモノ
デアリマス、此ノ考ヘ方ニ付キマシテ稅ヲ
經費ナリトシタ從來ノ考ヘ方ガ大藏當局自
ラ多年誤ツテ居ラレタ、大藏當局ガ多年間
違ヘテ居ラレタノ今回同是正サレタ、斯ウ
云フ風ニモ見受ケラレルノデアリマス、又
個人トノ均衡ヲ失スルト云フ考ヘ方ト二ツ
ニ出デテ居ルト推察サレマス、私ハ從來ノ
大藏當局ノ控除サレタ多年ノオヤリニナツ
コトヲ是ナリトシテ、若シ個人ノ方ニ均衡
ヲ失スルト云フコトナラバ、個人モ稅ヲ經
費トシテ認メラレタ方ガ本當チヤナイカト
思フノデアリマス、若シ之ニ依ツテ稅ノ收入
ガ減ルト云フコトナラバ稅率ヲ引上ゲテ戴
ケバ宜イノデアリマス、從來認メタモノヲ
認メナイヤウニシテ稅率ガ輕イヤウニ見エ
ルト云フヨリモ、經費ハ經費トシテ引キ、
殘ツタモノニ對シテ如何ナル重稅ヲ御掛ケ

ニナツテモ國民大衆ハ、産業界ノ人ハ斯ク重
稅ヲ負擔シテ居ルト云フコトガハッキリ分ル
ノデアリマス、稅ヲ引カナクナツタガ爲ニ稅
率ガ上ラナイ、サウスルト云フト大衆ハ、
商工業界ノ人ハ超過所得ノ最高ガ六十五
「パーセント」ダ、マダ「餘地ガアル」ダ、
法人稅ハ十八「パーセント」デ、其ノ上六十
五「パーセント」ヲ加ヘラレ、マダ「餘
地ガアル」ダト云フヤウニ世間ノ大衆ハ考
ヘルカモ知レヌ、ソレヲ私ハ是正シテ貫ヒ
タイノデアアル、世間ノ人ハ動モスルト云フ
ト、商工業者ト云フモノハ自利バカリヲ圖ッ
テ稅負擔ヲ避ケルト云フヤウニ思ハレテ殘
念デアリマス、故ニ私ハ引クベキモノハ引
イテ戴イテ、率ヲ引上ゲルモノハ引上ゲテ
戴ク、多クノ人ノ面前ニ八十五「パーセン
ト」、九十「パーセント」拂ツテ居ルト云フコ
トヲ明ニシタ方ガ、私ハ商工業者ノ建前ヲ
日本全國國民ニ知ラシムル所以デアアルカラ、
此ノ意味ニ於テ稅ハ經費トシテ御差引ヲ願
ヒマシテ、稅率ヲ引上ゲニナルト云フコト
ナラバ御上ゲニナツテ之ヲ「カヴァー」シテ戴
ク、是ガ私ハ至當デアルト考ヘマス、國民
大衆ニ向ツテモ我々ノ面目ガ立つノデアリマ
ス、併シナガラ承ル所ニ依レバ、是ハ二億
萬圓ノ收入ヲ直チニ減ズルノダ、ソレヲ此
ノ會期ノ切迫シタ今日私ガ是ノ修正ヲ叫ン
デモ困難デアアル、併シ私共ハ商工業界ノ總
意ヲ茲ニ披瀝シマシテ將來是正シテ戴キタ
イ、私共ノ希望ノスル通りニ是正シテ戴キ
タイト云フコトヲ強ク私ハ希望シテ置キマ
ス、次ニ綜合所得ニ於キマシテ、配當所得
ノ二割控除ヲ撤廢サレマシテ、利息ヲ引ク、
斯ウ云フコトニ相成ツタノデアリマスガ、私
ハ全國ノ商工業者ノ聲ヲ常ニ聞イテ居ルノ

デアリマス、毎年二回位ハ全國カラ會議所ノ總會ニハ集テ來ルノデアリマス、商工業ノ總意ト云フモノガヨク分ルノデアリマ...

ニ於キマシテ、專業會社ニ對シマシテハ相當ニ緩和サレマシタコトハ、私共ハ一面ニ於テハ感謝致シマス、而カモ私申上ガタイ...

個人ノ專業ガ同族專業會社トナツテ、社員ヲ包容シテ社會政策的ニヤツタモノガ今日殘ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ點ヲ考ヘマ...

〔速記中止〕 ○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ始メマ 子爵大河内輝耕君 此ノ問題ハ始終方針...

十分徹底シマスヤウニ御扱ヲ願ヒタイ、尙個人ノ寄附金ノ御取扱ニ至リマシテハ、是ハ政府ノ見方ハ私ハ誤ッテ居ルト思フ、唯法律一點張リデ以テ、是ハ稅デナイトカ何トカ言ハレマスケレドモ、實際ニ於テハ稅ト少シモ性質ハ違ハヌ、拂ハナケレバナラヌコトニナツテ居リマスカラ、仕方ゴザイマセヌ、之ニ付テモ將來十分御研究ヲ願ヒタイ、止メラレルモノナラバ止メテ戴キタイガ、止メルコトガ出來ヌモノナラバ、是ハ稅トシテ何處迄モ認メナケレバナラヌト思ヒマス、尙相續稅ノ物納ナリ、或ハ物件買上請求權ナリハ、先程問題モ起リマシテ、大藏大臣ノ明言ヲ得テ、我々モ大變喜ンデ居リマスガ、之ガ御研究ニナルニ付テモ只今納付中ノモノニ付テモ亦矢張り便宜ヲ與ヘテ戴キタイト思フ、是モ委員會ノ際ニハ御研究ヲ願ヒタイト存ジマス、尙只今安宅君カラ詳シク御申述ニナリマシタコトハ、誠ニ産業上重大ナコトゴザイマシテ、決シテ是ハ産業界ノ代表トシテノ御意見ト私ハ看做サナイ、是ハ貴族院議員ト致シマシテ、サウシテ普通のナ立場カラ、國家ヲ背後ニ置イテノ御意見トシテ、多大ノ敬意ヲ表スル者デアリマス、産業ト言ハズ、金融ト言ハズ、刻下ノ此ノ非常時ニ於テ國家ニ盡ス途ニ於テ何ノ異ル所モナイ、此ノ點ニ於テ我々モ亦、農業者ト雖モ皆此ノ點ニ付テ何等考ヲ異ニスル者ハナカラウト思ヒマス、ソレデ能ク審議シ、又此ノ法律案ヲ審議スルコトニ於キマシテ、今後ノ産業ノ發展ヲ期スルコトハ國民ヲ擧ゲテ努力ヲ致サナケレバナラヌ、支那ノ經營ニ對シテドレダケノ金ガ要ルダラウカ、又支那ノ兵備ヲヤルニ付テハドレダケノ金ガ要ルデアラウ

カ、唯金ダケ見タ所デ大變ノモノデス、之ヲ資金或ハ物資其ノ他ノ關係ニ付キマシテハ、之ヲ十分ニ供給セシメルコトニ付テハ、産業家ノ努力ニ俟ツコトハ非常ナモノデス、ソレデ折角是ダケノ産業家ノ權威者ガ集メラレテ、是ダケノ修正案ヲ作ラレテ、之ヲ政府ニ進言サレタ時ニ、不幸ニシテ是ガ容レラレナカッタコト云フコトハ、是ハ如何ニ最負目ニ見テモ政府ノ負擔ト申上ゲナケレバナラヌ、成ル程理窟カラ申セバ惡イコトモゴザイマセウ、今安宅君ノ述ベラレタコトニ付テ正直ニ申上ゲレバ、理論ノ徹底シタ所モゴザイマセウシ、多ク徹底シナイ所モアル、是ガ所謂學者ト或ハ我々ノヤウナ机デ以テ考ヘテ居ルヤウナ人間ト、産業家ト云フコトニ付テ實際ノ算盤ヲ取ッテ荒浪ヲ乘切ッテ居ル方ノ考トハ此ノ邊ニ於テ随分違フ、是ガ政府ガ御參照ニナラナカッタコト云フコトハ、是ハ何ト申シテモ政府ニ於テ多大ノ遺憾ナキヲ得ナイ、是ハ此ノ内閣ガ御ヤリニナツタノデハナイノデ、外ノ方ガ御ヤリニナツタノデスカラ、此ノ内閣ヲ彼此申スノデハナイガ、其處ノ點ハ此ノ内閣ハ十分御認メ願ヒタイ、將來ニ付テハ此ノ點ハ十分ニ御政究ニナツテ、決シテ是ハ商工會議所ノ代表者ガ云ツタノデハナイ、貴族院議員ガ申シタノデアアル、ヨク此ノ點ヲ十分ニ御了解下サツテ、サウシテモウ少シ産業ニ對シテ同情ヲ持ッテヤツテ戴キタイ、私ハ度々今迄稅制改正ノ度ニ、是ハ商工業者ノ意見ヲ聞イタカ、農業者ノ意見ヲ聞イタカト云フコトハ、ソレヲ繰返ス度ニ申シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ハ特ニ此ノ際申上ゲテ置キマス、ソレカラ次ニ私ハ最後ニ質問致シマシタ東

京市ノ財政ナンドス、何モ東京市ノヤウナ小サナ問題デ申シタノデハナイノデ、實ハ此ノ地方團體ノ財政ト國家ノ財政トノ關係ニ於テ、ドウモ今度非常ニ色々ナ豫期スベカラザル事情ガ起ラウト思フ、例ヘバ警察費連帶支辨金ナドハ東京大阪ハ殖エテ居ラヌ、何故殖エテ居ラヌカト聞イテ見タ所ガ財政ガ豊カダカラト斯ウ仰シヤル、是ハ大イナル間違ヒデアラウト思フ、是ハ無論内務省ノ御方ニ申上ゲタ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、大藏省ノ方デモ御承知ヲ願ヒタイノデスガ、此ノ頃ノヤウニ警察ガ重大デアル、警察ガ必要デアアルヤウナ場合ニ於キマシテハ、又召集其ノ他ノ爲ニ警察官ノ種ガ落チテ居ル時ニダ、東京市ノ警察費ノ如キハ最モ之ヲ増加シテ、モット良イ警官ヲ採レ、其ノ代リ帝都ノ將來此ノ複雜奇ヲ極メタ時局ニ於テ如何ナルコトガアツテモ十分ノ責任ヲ執ラナケレバイカヌ、其ノ代リ金ノ方ハ十分ニ殖ヤシテヤル、サウ仰シヤルノガ當リ前ダノニ金ガ澤山アルノダカラト云フコトハ對シテ同情ヲ持タレナカッタト云フコトハ甚ダ遺憾デアアル、併シ是ハ餘計ナ問題デ、又政府ノ仰シヤル財政ニ餘裕ガアルカラト仰シヤルノモ是ハ無理ハナイ、是ハ無理モナイカラ私ハ茲ニ一ツノ考ヘ方ヲ見テ戴キタイ、只今ノ地方財政ノ狀態ニ於キマシテハ非常ニ地方財政ガ收入ガ多イ、此ノ收入ガ多イノハ何故カト云フト政府デ澤山ノ赤字公債ヲ出シテ、サウシテ非常ナ金ヲ使ッテ居レバコソ斯ウ云フコトニナツタ、ソレデサウ云フ場合ニ於キマシテハ、赤字公債ヲ出シタ爲ニ、サウ云フ風ニナツタモノニ付テハ、將來ニ地方團體ノ歳入ハソレダケニ増加シテ續ケテ行ケルヤ否ヤ

ハ是ハ保證ノ限リニ非ズ、國家ノ財政モサウカ知レマセヌガ、殊ニ地方ノヤウナ小サイ所デハ政府ノ何ト云フカ「インフレ」政策ト云ヒマスカ、赤字公債政策ト云ヒマスカ、ソレガナクナツテシマッタ場合ニ於テハ、餘程苦痛ヲ受ケヨウト思フ、今ハ樂ダ、是ハ地方團體ノ努力ニ依ッテ樂ニナツタノデモナシニ政府ガサウ云フ風ナ政策ヲ執ッタカラ樂ニナツタノデアリマスカラ、斯ウ云フ非常時ニ於キマシテハ、或ハ鐵道會計ヲ遞信會計ナリ、或ハ朝鮮ヤ臺灣ノ例ニ做ッテ地方稅ノ豊カナ、警察費連帶支辨金ヲヤラナクテ濟ムヤウナ豊カナ所カラハ相當ナ納付金ヲサセルコトモ宜カラウト思フ、是ハ地方ノ自治ノ問題デゴザイマスカラ、私ハ決シテ政府ガ進ンデソソナコトヲシロト申スノデハナイノデスガ、是ハ一ツノ案トシテ地方團體ニ於テモ、政府ニ於テモ御考ニナツテ宜イ問題カト思ヒマシテ此ノコトヲ申添ヘテ置キマス、殊ニ又將來ノ稅務ノ執行ノコトニ付テハ色々御説モゴザイマシタガ、何シロ劃期的ノ増稅ノコトゴザイマスカラ、十分慎重ナ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ大體ヲ申上ゲマスレバ、今日ノ斯ウ云フ風ニ増稅ヲシテ居テ、政府ハマダ餘裕ガアルナドト仰シヤルノハ、是ハ決シテ永久的ノ言明デヤナイト私ハ思フ、今日ハ是ダケノ赤字公債ヲ出シテ置キマスカラ、ソレダカラ是ダケノ歳入ニ堪ヘテ行ケル、若シ他日之ヲ整理シテ確乎タル基礎ノ上ニ財政ヲ立テルト云フコトニナレバ、此ノ増稅ト云フモノハ非常ニ重イ、是ハ先程八條子爵ノ言ハレタヤウニ英國ノ例ニ做ウテ、或場合ニハ殖ヤス、或場合ニハ減スト云フコトハアツテ然ルベキコトト思フ、之ヲ直ダニ日

本ノ今迄ノヤリ方デ用ヒルト云フコトハ餘程苦シイコトカト思ヒマスノデ、此ノ點ハ御承知下サレ念頭ニ御置キニテ戴キタイ、現ニ濱口内閣ノ緊縮政策ヲ執リマシタ時ニ、アレダケノ税デアツテモ、尙負擔力ガ負擔シ切レナカッタト云フヤウナ状態迄モ生ジタ例モゴザイマス、一時ノ現象ヲ以テ餘裕アリナシト云フコトヲ言フコトハ、サウ云フ御意見ナラバソレ迄デスガ、サウ云フ風ニ御考ヘニナルノハ少シ行キ過ギデハアルマイカト存ジマス、尙全體ノ財政ヲ確立シ、又進ンデハ社會ノ状態ヲ改メルニ付キマシテモ大體カラ申セバ、政治ノ明朗化ヲ必要トシ、國際關係ノ調整ヲ第一義トスルト云フコトハ、是ハ申ス迄モナイコトデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ政府モ御言明ノコトデゴザイマスカラ、十分ニ努力ヲシテ戴キタイ、斯様ニシテ私ノ希望ハ隨分多岐ニ互ツテ居リマス、中ニハ無論時間ノ餘裕ガアレバ是非共修正案ヲ提出致シマシテ、サウシテ兩院協議會迄行ツテモ宜シウゴザイマスカラ、修正モ致シタイノデゴザイマシガ、今日ノ此ノ餘裕ノナイ日ニサウ云フコトヲヤルト云フコトモ餘リニ如何カト存ジマス、此ノ希望ヲ附シテ此ノ案全部ニ賛成ヲ致シマス

○委員長(伯爵林博太郎君) マダ外ニ御發言ハアリマセスカ...別ニ御發言ガナケレバ採決ヲ致シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 御異議ナシト考ヘマス、然ラバ採決ヲ致シマス、衆議院ノ送付ニ係ル所得税法中改正法律案、法人税法案、特別法人税法案、配當利子特別税

法案、外貨債特別税法中改正法律案、相續税法中改正法律案、建築税法案、鑛區税法案、臨時利得税法中改正法律案、營業税法案、地租法中改正法律案、酒税法案、清涼飲料税法中改正法律案、砂糖消費税法中改正法律案、織物消費税法中改正法律案、揮發油税法中改正法律案、物品税法案、遊興飲食税法案、取引所税法中改正法律案、通行税法案、入場税法案、印紙税法中改正法律案、骨牌税法中改正法律案、狩獵法中改正法律案、明治四十四年法律第四十五號中改正法律案、大正九年法律第五十一號中改正法律案、支那事變特別税法及臨時租稅增徴法廢止法律案、營業收益税法廢止法律案、資本利子税法廢止法律案、法人資本税法廢止法律案、臨時租稅措置法中改正法律案、家屋税法案、所得稅法人稅内外地關涉法案、昭和十二年法律第九十四號中改正法律案、大正十三年法律第六號中改正法律案、アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案、租稅法規ノ改正ニ伴フ恩給金庫法等ノ規定ノ整理ニ關スル法律案、此ノ全部ヲ問題ト致シマシテ採決ヲ致シマス、此ノ衆議院ノ送付ニ係ル所得税法改正法律案外三十六件ハ衆議院ノ修正通リデ異議ナシトスル諸君ノ起立ヲ望ミマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 多數デゴザイマス、是ニ依ツテ只今採決ヲ致シマシタ衆議院ノ送付ニ係ル所得税法改正法律案外三十六件ト云フモノハ全部可決ニ相成リマシタ、是デ散會ヲシマス

午後三時二十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 男爵松岡 均平君
委員

伯爵島津 忠重君
侯爵細川 護立君
侯爵筑波 藤麿君
伯爵二荒 芳徳君
子爵青木 信光君
子爵大河内輝耕君
子爵八條 隆正君
子爵三島 通陽君
中川 健藏君
男爵赤松 範一君
男爵岩倉 道俱君
男爵伊江 朝助君
坂野鐵次郎君
三浦 新七君
河田 烈君
西野 元君
土方 久徵君
澁澤 金藏君
今井 五介君
松本 眞平君
磯野 庸幸君
橋本辰二郎君
安宅 彌吉君
野村 徳七君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君
大藏書記官 植木庚子郎君
同 氏家 武君
同 田中 豐君
同 山田 義見君
同 池田 勇人君
營繕管財局理事 松隈 秀雄君

國務大臣
內閣總理大臣 光内 光政君
大藏大臣 櫻内 幸雄君
政府委員
內務省地方局長 扶間 茂君
內務書記官 三好 重夫君
大藏省主計局長 谷口 恒二君